

【地区の魅力】

標高 300 ~ 400mの急峻な山地や、山裾の棚田や農村集落、旭川によって形成された深い谷など、市街地に近接した場所でありながら、豊かな自然的景観を創り出している。地区南側の金山・笠井山からは、岡山市街地、児島湾まで見通せる良好な眺望景観が得られ、金山・笠井山の山頂付近に位置する農家集落が、特徴的な景観を創出している。金山寺などの歴史的建造物とともに、牟佐集落周辺では吉備三大巨石墳の1基・牟佐大塚古墳など水運にまつわる歴史的資源や近代化遺産である橋梁等が特徴ある景観資源となっている。旭川中流部の御津の区域は、比較的ゆったりとした谷筋の田園景観が特徴であり、JR津山線金川駅周辺の宇甘川合流部では良好な歴史的街並み・河畔景観が形成されている。

【地区の課題】

特徴ある自然度の高い景観・自然環境や歴史的資源を活かしていくことが必要である。幹線道路沿いの沿道景観やゆったりとした河川景観を守ることが必要である。市街地を一望できる良好な眺望景観を活かしていくことが必要である。

【景観づくりの目標】

緑豊かな山並みを背景に旭川の清流が流れる雄大な自然環境や、山裾に展開する穏やかな田園環境などを活かし、市民の身近なやすらぎの場として、のどかさが増えるよう自然景観づくりを目指す。

【景観づくりの方針】

方針	具体的な方向
1. 眺望を活かした自然的景観を適切に保全する	市街地に近接した自然度の高い急傾斜の緑を守り、市民の身近な自然探索、レクリエーション資源として活かす。 山頂部からの良好な眺望景観を守り、多くの市民が楽しめる場として活かす。
2. 旭川の河川景観を活用する	区域南部の急峻な斜面に囲まれた景観を身近な自然体験の場、自然レクリエーションの場として活かす。 中流部のゆったりとした田園景観の中を流れる旭川の河川景観を守る。 河川敷の景観を良好な状態に保つ。
3. 歴史的資源を保全、活用する	金山寺など歴史的資源を守り、地域の個性ある景観づくりの資源として活かす 牟佐地区などの歴史的な遺構、近代化遺産等の景観資源を活かす。
4. 旭川沿いの田園景観を保全する	旭川上流部及び支流の新庄川沿いなどの農地の保全とともに農業の継続性を高め、良好な里山・田園景観を守る。

【地区の魅力となる景観資源】



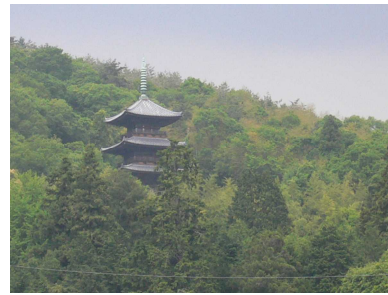
御津町の文化を伝える郷土歴史資料館



金山の山頂付近に佇む農家集落



山間を流れる旭川の自然景観



山裾にひっそり佇む金山寺



御津地区の雄大な田園景観



人の営みと自然との調和が織り成す農村景観



山の緑に溶け込む美しいシルエットの大原橋

図 景観づくりの方針

